

令和4年度 事業計画

令和4年6月1日～令和5年5月31日

公益社団法人 日本カーリング協会

1. 総会・理事会等開催
 - (ア) 社員総会の開催
 - ① 定時社員総会の開催 令和4年8月6日開催予定
 - (イ) 理事会の開催
2. 監査会の開催
 - ① 令和3年度 会計監査（東邦監査法人） 令和4年7月14日・15日
 - ② 令和3年度 監査会 令和4年7月20日
3. 上部団体対応
 - ① 日本オリンピック委員会（JOC-NF 連絡会議、NF 支援センター会議、WUG 派遣 他）
 - ② 日本スポーツ協会（公認指導者登録、新型コロナウイルス対応 他）
 - ③ 日本スポーツ振興センター（スポーツ振興助成金、アスリート個人助成、HPS 事業）
 - ④ JADA（ドーピング検査事業説明会 他）
4. 全国事務局長会議の開催
令和4年9月 Japan Sport Olympic Square 会議室およびオンラインにて開催予定
5. 補助事業の申請・実施・報告業務
6. 広報・マーケティング活動
 - ① ホームページリニューアル
 - ② ホームページ、SNS の更新維持作業、記者会見の開催（日本代表チーム会見 他）
 - ③ 新しいスポンサーシッププログラムに沿った協賛対応
7. 協賛企業対応
全農、JAL、ARTISTRY、ナブテスコ、ミズノ、大会協賛各社
8. 世界カーリング連盟（WCF）関係
国際大会代表チーム派遣業務等
9. 会計業務
日常会計業務、月次(四半期)試算表作成、決算業務、納税、給与支払い、社会保険手続き 他
10. 募金対応
JAL ネクストアスリートマイル
11. 競技者登録・登録証発行

1. 目的

財務委員会は本協会財務の健全性を確保するため、財政的な基盤を充実し、安定的に維持する必要があります。毎年度の予算を立案・決算に関する審議を精査し、理事会に提案する事を目的とする。

2. 委員一覧（敬称略・順不同）◎：委員長

◎石田順一、大澤明美、酒巻 智、野藤 薫、初瀬智彦、小高正嗣

3. 令和4年度活動計画

- 予算案の作成、各委員会への予算折衝
- 予算執行の監督、四半期毎の資産状況の確認と必要な財務施策の立案と実施
- 補正予算案の作成
- 決算案の作成
- 財務構造の分析と中長期の財務計画の立案
- 寄付金の税額控除の対象となる公益法人を目指すための活動
- 協会への個人協賛（仮称カーリングサポーター）を募るための活動

4. 令和4年度予算案

会議等をオンラインで行うため当初予算は要求しない。必要に応じて補正予算申請を行う。

1、委員会の開催

- 年6回程度の web 会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。
- 集合会議は1回開催。

(2022 年度の事業計画等が承認される定時総会又は全国事務局長会議に合わせて開催。)

2、スポーツ庁制定「スポーツ団体ガバナンスコード」への対応

- 2019 年に制定された「スポーツ団体ガバナンスコード」による毎年の自己説明及び公表に対応。
- 令和 5 年度（2023 年）の適合性審査に向けて未整備及び検討事項についての対応を完了する。

3、中長期計画の策定

- 「スポーツ団体ガバナンスコード」未対応案件である「中長期計画」についてワーキンググループでの基本方針策定をもとに、「中長期計画」公表を目指し整備する。

4、新協会運営体制移行に関する運営実務の整備

- 2022 年度よりの協会運営体制の実務に沿った規程類の策定及び改訂。
- 新運営体制での実務の効率化への対応。
- 新運営組織での次期役員、委員改選への課題の対応。

5、登録証の発行（事務局依頼）

- 登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

6、その他

- 全国事務局長会議（JCA 主催）に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。

会議での意見や提案等については理事会へ報告する。

令和4年度 指導普及委員会 事業計画

指導普及委員会委員長 中村 義人

1. 委員会の開催 【共通事業】

(1) 第1回委員会 (主に事業計画の確認および具体的内容の検討)

期 日：令和4年6月上旬

会 場：WEB

案 件：令和4年度事業計画、役割分担ほか

(2) 第2回委員会

期 日：令和4年8月7日(日) ※予定

会 場：集合・WEB併用

案 件：令和4年度事業の進捗状況ほか

(3) 第3回委員会

日 時：令和4年12月上旬

会 場：WEB(又は集合・WEB併用)

案 件：令和4年度事業実績、令和5年度活動計画ほか

(4) 第4回委員会

日 時：令和5年3月上旬

会 場：WEB(又は集合・WEB併用)

案 件：令和5年度事業計画(案)、令和5年度予算(案)ほか

※第2回～第4回のいずれか1回はWEB併用の集合会議とする予定。

2. スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(指導普及用)の見直し 【共通事業】

- ・政府及び日本スポーツ協会の新型コロナウイルス感染症対策の見直し等が行われた際に、必要に応じて指導普及活動用のガイドラインを修正

3. 公認カーリングコーチ1養成講習会 【指導事業】

(1) 岩手講習会

開催地：盛岡市

時 期：令和4年9月17日(土)～19日(月祝)

対 象：カーリング経験3年以上

定 員：20名

(2) 長野講習会

開催地：軽井沢町

時 期：令和4年9月23日(金祝)～25日(日)

対 象：カーリング経験3年以上

定 員：20名

4 カーリング指導者ステップアップ講習会（更新研修） 【指導事業】

目的：カーリングの指導理論や技術を学ぶ

対象：公認カーリング指導者

方法：WEB（座学）

時期：未定

受講料：2,000円（予定）

5 JCA 功労章及び JSPO 永年表彰 【指導事業】

(1) JCA 功労章

加盟都道府県協会に推薦を依頼（12～翌年1月）

審査委員会（理事会）において審査（3～4月）

社員総会において表彰（8月）

(2) JSPO 永年表彰

3年度のJCA功労章受章者（3名以内）をJSPO永年表彰（指導者）候補者として推薦（7月）

JSPOの審査を経て内定（11月）

JSPO全国指導者会議において表彰（12月）※2、3年度はJCA、加盟協会経由で贈呈

6 JSPO 指導者資格の受講希望調査・推薦 【指導事業】

スポーツドクター（JSPOの募集開始後） 2～3月

アスレティックトレーナー（ // ） 2～3月

スポーツデンティスト（ // ） 2～3月

- ・加盟協会に受講希望者を照会し、該当者がいれば経歴書等を審査してJSPOに推薦
- ・照会及び推薦は医科学委員会及びJCA事務局と協力して実施

7 JCA カーリングスクール 【普及事業】

(1) JCA カーリングスクール横浜 2022

期日：7月24日（日）又は31日（日）

会場：横浜銀行アイスアリーナ

主催：（公社）日本カーリング協会、神奈川県カーリング協会、東京都カーリング協会

主管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）、神奈川県カーリング協会、東京都カーリング協会

(2) JCA カーリングスクール西日本

期日：11月上旬

会場：ひろしんビッグウェーブ

主催：（公社）日本カーリング協会、広島県カーリング協会

主管：日本カーリング協会（指導普及委員会）、広島県カーリング協会

8 JA 全農チビリンピック 2022（小学生大会） 【普及事業】

時期：令和4年12月25日（日） 前日は受付及び講習会 ※仮日程

会場：横浜銀行アイスアリーナ

主催：（公社）日本カーリング協会、日刊スポーツ新聞社

協 賛：JA 全農

主 管：(公社)日本カーリング協会(指導普及委員会)、東京都カーリング協会

9 JA 全農中学生カーリング大会(実施の可否を含めて検討・調整) 【普及事業】

時 期：令和4年8月6日(土)～7日(日)

会 場：MGC 三菱ガス化学アイスアリーナ

主 催：(公社)日本カーリング協会

協 賛：JA 全農(予定)

主 管：(公社)日本カーリング協会(指導普及委員会)、新潟県カーリング協会

10 JCA スポンサー向けカーリング体験会(スポンサーと協議して決定) 【普及事業】

概 要：スポンサー様向けカーリング体験会

会場等：東日本1回、西日本1回

主 催：(公社)日本カーリング協会

主 管：(公社)日本カーリング協会(指導普及委員会)、加盟都道府県協会

11 指導普及備品貸し出し 【共通事業】

(1) カーリングブラシ

A セット(ブラシ40本、スライダー10枚) 広島市

B セット(ブラシ39本) 二戸市

(2) フロアーカール

A セット 軽井沢町

B セット 青森市

12 カーリング指導普及活動支援プログラムの創設に向けた検討 【共通事業】

- ・加盟協会が各地域で指導普及活動を行うのに要する経費の一部を助成する制度
- ・令和5年度の事業創設に向けてプロジェクトチームを設けて検討

- ・日本選手権大会その他の競技大会の開催
- ・競技力向上事業の実施及び調査研究
- ・審判員の資格認定及び講習会の開催
- ・国際競技大会等の開催並びに国際競技大会へのスタッフ参加者の選定及び派遣
- ・アイスメイクの技術開発及び検定・講習会の開催

① 競技委員会の開催〈415千円〉

- ・第1回委員会(web)
日 時：2022年6～7月 日()
- ・第2回委員会(web)
日 時：2022年9月 日()
- ・第3回委員会(350千円)(2年に1回は地方にて開催を検討)
日 時：2022年10月15日(土)[未定] 場 所：未定
- ・第4回委員会(Web)
日 時：2023年3月 日()
- ・必要に応じWeb会議を開催 大会報告委員会の開催

② 競技運営研修会・運営マニュアル作成事業(370千円)

- ・競技運営研修会(web)
日 時：随 時
- ・大会公式記録作成データ作成(電子版)
- ・大会運営マニュアル作成
- ・競技情報Web管理システム使用料(Webラインナップ等)

③ 審判員検定講習会及び研修会 2934千円)

- ・A級研修会～開催方法未確定(200千円)
開催日程：2022年 9月 下旬
開催場所：北海道：札幌市(北海道立総合体育館・きたえーる)
※出席審判員の旅費を支給(予算の範囲内支給)
- ・A級検定講習会〈20千円〉
開催日程：2022年 9月 月上旬
開催場所：青森県：青森市
- ・A級実技検定講習会(各大会にて)〈1280千円〉
開催日程：2022年 各大会日程による
開催場所：MD,MIX4,シニア、Jr、他大会(受験者との調整にて)
- ・B級検定講習会～(2回開催)(324千円)
開催日程：2022年11月26日(土)～27日(日)
2023年 5月20日(土)～21日(日)
開催場所：2大会・開催大会(日本シニア11月青森、車いす5月北見市)

- ・ C級検定講習会 (200 千円)
審判部主催 オンライン開催×2回 (8月頃・1月頃)
- ④ 審判部事業～開催方法未定 (980 千円)
 - ・ 審判部会議 (200 千円)
開催日程: 2022年 9下旬
開催場所: 北海道札幌市(北海道立総合体育館・きたえる)
 - ・ WEB 会議開催: 随時
 - ・ A級審判員派遣研修 (330千円)
派遣大会: 未定(WCFツアーなど国際大会へ派遣) 審判部において検討
開催日程: 未定
派遣場所: 未定
 - ・ 審判員検定講習会マニュアル作成 (90 千円)
 - ・ 競技規則翻訳・編集 (90 千円)
- ⑤ アイスメイク研究会事業 (260 千円: 内 85 千円参加料)
 - ・ アイスメイク研究会会議 (0 千円)
Web 会議
開催日程: 随 時
 - ・ アイスメイクライセンス取得講習会・検定 (60 千円: 内 45 千円参加料)
開催日程: 2022年 9月 日() ~ 日()
開催場所: Web 講習会・検定
 - ・ アイスメイクライセンスステップアップ研修会 (200 千円: 内 45 千円参加料)
開催日程: 2022年 月 日() ~ 日()
開催場所: 北海道(札幌又は稚内)
- ⑥ 各種大会の開催日程及び開催場所 (千円)
 - 第3回日本ミックスカーリング選手権大会 (1400 千円)
開催期間: 2022年8月25日(木) ~ 28日(日)
開催場所: 長野県: 軽井沢町 軽井沢アイスパーク
担当競技委員: 持田・岩崎・+1名
参加チーム: 12チーム(6チーム2ブロック)
各ブロック2チーム+前々年度優勝・準優勝ブロック各1チーム
 - 第20回日本シニアカーリング選手権大会 (1300 千円)
開催期間: 2022年11月24日(木) ~ 27日(日)
開催場所: 青森県: 青森市 みちぎんどリームスタジアム
担当競技委員: _____
参加チーム:
男子: 北海道4、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計10チーム(2ブロック)
女子: 北海道2、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計8チーム(2ブロック)
欠場枠=前年度の対象年齢登録者数によって割振りを行う(北海道は優先順位1位)。
※日本協会として派遣費用の一部助成

○第31回日本ジュニアカーリング選手権大会（5000千円）

開催期間：2023年3月21日（火）～26日（日）

開催場所：長野県：軽井沢町 軽井沢アイスパーク

担当競技委員：_____

参加チーム：男女各8チーム

出場枠：北海道：3 東北：1 関東中部：2 西日本：1 開催地推薦：1

※出場辞退を辞退する場合は、2021年9月15日までに「出場辞退届」を日本カーリング協会長宛に提出すること。

※出場辞退があった場合の他ブロックへの割当は、次の順番とする。東北⇒北海道⇒関東中部

○第19回日本車いすカーリング選手権大会（940千円）

開催期間：2023年5月19日（金）～21日（日）

開催場所：北見市 OR 軽井沢

担当競技委員：_____

参加チーム：6チーム（本州3・北海道3）

1. 強化事業の目標、課題

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。

令和4年度の目標を、

- 1) 2023年世界女子カーリング選手権大会メダル獲得
- 2) 2023年世界男子カーリング選手権大会プレーオフ進出
- 3) 2023年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会プレーオフ進出
- 4) 2023年世界ジュニアカーリング選手権大会男・女プレーオフ進出
- 5) ワールドユニバーシティゲームズ冬季競技大会（2023/レイクプラシッド）(WUG)男・女プレーオフ進出、

とする。

強化の基本方針は、各カテゴリーの強化チームを海外強化合宿に派遣し、国際競技力を向上させることである。この方針に沿って、強化事業を策定し、実施する。

女子の課題は、オリンピックや世界選手権大会等での経験や国際大会で勝つためのノウハウを共有し、伝授していく体制をナショナルチームコーチとともに整備することである。さらに、男子およびミックスダブルスの課題は、長期的な選手育成・強化戦略を策定し、実施することである。ジュニアとWUGの課題は、選手個々のアスリートとしての資質を向上すること、海外強化合宿の機会を創出し、国際試合経験を蓄積することである。

2. 令和4年度強化事業

上記の目標に向けた強化事業を実施する。

- 1) 強化チーム・選手の指定および認定
- 2) 国内強化合宿の実施
- 3) 国内ジュニア強化合宿の実施
- 4) 夏季国内合同強化合宿の実施
- 5) 冬季国内合同強化合宿の実施
- 6) ミックスダブルス国内合同強化合宿の実施
- 7) 夏季国内ジュニア合同強化合宿の実施
- 8) ミックスダブルス強化チーム選考合宿の実施
- 9) ジュニア日本代表・WUG日本代表選考合宿の実施
- 10) 国際大会日本代表選考
- 11) 海外強化合宿（男・女強化チーム、ミックスダブルス強化チーム、男・女ジュニア強化チーム、男・女WUG日本代表）の実施
- 11) 国際大会への日本代表チームの派遣、強化スタッフ、サポートスタッフの派遣
- 12) 日本選手権大会、国際大会等の視察

3. 令和4年度強化事業予算

- 1) 支出予算 2,100 万円<日本代表派遣や合同強化合宿の本会負担額>
- 2) 170 万円<ミックスタブルス外国人コーチ（国内・海外強化合宿謝金等）>170 万円
- 3) 65 万円<国内（大会，合宿）旅費，研修会講師派遣等>
- 4) 強化事業（別紙，日本スポーツ振興センター）

4. その他

- 1) 強化委員会開催年 12 回

以上.

1. 委員会の開催

2022年10月集合会議(東京)

WEB会議

2. ドーピング検査事業

- ・ toto 費用申請
- ・ JADA、大会開催県協会と連携し、試合日程を確認、ドーピングコントロールステーションの設置、シャペロンの確保。検査、大会運営がどちらも問題なく進行するための調整
- ・ NFとして検査立会い

3. アンチ・ドーピング啓発事業

- ① アンチ・ドーピング教育活動年間計画作成
- ② 研修会について
 - ・ JCA 男女強化指定選手研修合宿 (JADA 講師)
 - ・ ジュニア男女強化指定選手研修合宿 (JADA 講師)
 - ・ 全国高等学校カーリング選手権大会
- ③ 各ブロック大会で医科学委員がアンチ・ドーピングの情報提供(可能であれば研修会の開催)、TUE 指導
- ④ 選手権大会でプログラムに「アンチ・ドーピングのすすめ」の掲載
- ⑤ アンチ・ドーピング e ラーニング「FAIR PRIDE」の使用

4. 医科学情報提供

各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

5. 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- ・ 加盟団体連絡会議兼ドーピング防止研修会
- ・ 加盟団体スポーツドクター代表者会議
- ・ アスレティックトレーナー連絡会議
- ・ アンチ・ドーピング教育担当者会議
- ・ アンチ・ドーピング教育活動者講習会
- ・ アンチ・ドーピング定期研修会

6. トレーニング情報の提供

- ・ 強化指定選手研修合宿、ジュニア男女強化指定選手研修合宿への参加など

7. 新型コロナウイルス感染症対策

- ① ガイドライン作成、改定
- ② 大会会場での感染症対策(健康調査、行動調査票の確認)

8. 大会時の医療体制の準備

- ・ 会場近くの病院へ診療依頼の連絡

1、委員会の開催

- web 会議は、毎月 1 回開催を基本とする。
- 集合会議は、年 1 回の開催を基本とするが、コロナの状況等により web 会議に変更の可能性有。
- 通報窓口に申立のあった場合や、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合は、必要に応じ随時 web 会議を開催し、事実調査等を行う。

2、ガバナンスコードに関する取り組みの実施

- 地方組織等に対して、ガバナンスの確保やコンプライアンスの強化等を浸透させるための適切な指導や支援を行える体制作りを引き続き行い、全国事務局長会議でのコンプライアンス研修を実施する。

3、コンプライアンスに関するセミナーの開催（web 開催の場合もあり）

強化委員会、競技委員会と連携した取り組み

- 強化合宿等（ジュニア強化選手も含む）で、選手及びコーチを対象としたコンプライアンスに関するセミナーを開催し、「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識の向上を図る。
- 理事等を対象としたコンプライアンス&ガバナンスに関するセミナーを開催し、協会のコンプライアンス強化と、適正なガバナンスの確保を図る。
- 審判を対象としたコンプライアンス研修の実施。

一般協会員に向けた取り組み

- web 会議システムを利用した全国の一般協会員向けコンプライアンス研修の実施。

4、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会における「コンプライアンス&ガバナンス」講習実施 指導普及委員会と連携した取り組み

指導者としての、スポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

5、協会ホームページを活用した啓発活動

協会ホームページを活用し、「スポーツ・インテグリティ」を脅かす反社会的勢力との関わりの禁止、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、人種差別の禁止、アンチハラスメント、暴力行為根絶等への取り組みを推進する。

6、上部団体等（JOC、JSC、日本スポーツ協会等）の開催する研修会への参加及びアンケート調査への協力

上部団体、関連団体の研修等に理事等も含め積極的に参加し、コンプライアンス強化及び適正なガバナンス確保に努める。

7、その他

新型コロナウイルス感染症に関連して発生した事案の検証

令和4年度 環境特別委員会 事業計画

環境特別委員会委員長 平間 初恵

*委員会開催（集合会議・軽井沢での日本ジュニア選手権時） 1回
（web会議） 2回

*環境啓発横断幕掲示（日本ジュニア選手権・日本選手権・日本 MD 選手権等）

*各協会カーリング施設への環境啓発ポスター掲示

*環境啓発DVDの活用（日本ジュニア選手権等）

*主催大会等主要大会における大会参加者・スタッフによる環境保全活動
（感染拡大予防も兼ね、参加選手・スタッフのゴミの分別、持ち帰りの徹底）

*JOC スポーツ環境専門部会の会員としての活動
（JOC スポーツ環境専門部会会議・スポーツと環境地域セミナーの参加）

*大会プログラムのデジタル化や行動記録のオンライン化で紙媒体を削減し、環境啓発を行う

*SDGs の具体的な取り組みを検討し、実行する

令和4年度 マーケティング委員会 事業計画

マーケティング委員会委員長 日下 稔

1. 委員会の開催

- web 会議を必要時に開催。
- 年に 1 回、集合会議を開催。

開催時期：6 月～7 月 会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

2. 収益化の推進

- 日本選手権、日本 MD における有料観覧の管理。
- 主に上記大会における大会協賛社の獲得。
- Youtube 動画配信における収益事業の検討。
- JCA 公式、公認グッズ制作協力。

3. 対外広報活動

- テレビ局と大会放送に関する各種調整。
- Youtube の大会動画配信に関する各種調整。
- マスメディア、WEBメディアへの情報発信と管理。
- 協会公式ソーシャルメディアを通じた情報発信。
- 新しいソーシャルメディアの運用開発と情報発信。

4. 協賛社の契約書精査

- 事務局と連携し、契約にあたって契約書の精査、確認。
- 協会協賛社の共通メニュー開発。

5. その他

- 日本代表のマーケティング活動規約作成。
- サポーター制度等、新しい収入構造の設計。
- 2023 年度以降の日本選手権横浜開催の実現に向けて継続考査。

令和4年度 アスリート特別委員会 事業計画

アスリート特別委員会委員長 橋本 祥太郎

1. 目的

競技・選手に関する事項、競技の発展、振興、普及に関する事項、社会的貢献や選手の活動、生活に関する事項について競技力向上のための環境をより良くして行く為に意見や情報を審議、精査し、理事会に提案する事を目的とする。

2. 令和4年度活動目標

年4回の特別委員会会議（内、1回を集合会議予定）。第1回はJCA総会后とする。

全国のアスリートからの意見集約活動

アスリート特別委員会ホームページの維持管理、寄せられた意見等への対応、ならびに周知活動（各種大会でのチラシ配布を予定）。

第40回日本カーリング選手権・第16回日本ミックスタブルスカーリング選手権におけるキッズスペースの設置。

女性アスリート支援事業の企画・実施。

3. 令和4年度予算案

349,000円（意見集約活動費）

70,000円（キッズスペース設置費）

※委員会内にてリスクと責任を中心に計画を検討し、必要とあれば補正予算にて追加申請することとする。

100,000円（女性アスリート支援事業費）

※委員会内にて助成対象について、特に所属協会の負担有無や性別などを検討し、必要とあれば補正予算にて追加申請することとする。

1. WCF 等団体との折衝
 - ・ 依頼要請等発生により随時
2. JCA 各委員会との連携
 - ・ 各委員会委員異動に伴う国際委員会委員指名要請（必要に応じて）
 - ・ Annual General Congress (AGA: 年次総会) 等に向けた JCA 意思確認
 - ・ その他随時
3. 委員会開催
 - ・ 集合会議（年2回程度：WCF 総会直前・OpenMeeting 直前）
 - ・ Web 会議（Zoom 等。随時）
4. WCF 関連会議への評議員派遣
 - ・ WCF 総会（おそらく 2022/09 @ローザンヌ）
 - ・ Open Meeting（おそらく 2023/03-04（世界選手権開催時））
 - ・ PA Zone Meeting（おそらく 2022/fall（PCCC 時））
5. 国際関係力強化への検討
 - ・ 以下に関する検討
 - ・ 国際審判員等資格に関する調査
 - ・ WCF 関連イベントへの派遣
 - ・ JOC や他競技 NF との連携
6. 国際的人材の確保
 - ・ 国際人アカデミーへの受講者推薦（可能であれば）
 - ・ 国際活動に興味のある人材の掘り起こし
7. 予算案
 - ・ 別添の事業予算書参照